求人件名	函館工業高等専門学校生産システム工学科　教員公募
機関名	函館工業高等専門学校
機関ＵＲＬ	https://www.hakodate-ct.ac.jp/
部署名	生産システム工学科
求人内容	［機関の説明（募集の背景、機関の詳細、プロジェクトの説明等)］ 本校は中学校卒業者を対象とした５年制の国立高等教育機関である高等専門学校です。高度化再編を実施し，従来の機械工学、電気電子工学、情報工学系学科を合わせた生産システム工学科、物質工学科を物質環境工学科、環境都市工学科を社会基盤工学科に改組した三学科体制です。１年生は混合学級として共通授業を行い、2 年生から学科・コース選択としています。本科の上には２年制の専攻科が設置されています。本科との接続教育強化を図り、生産システム工学、物質環境工学、社会基盤工学の 3 専攻があります。 ［仕事内容］ 担　　当　　：生産システム工学科　情報コース 専門分野　　：情報工学全般 担当教科目　：生産システム工学科情報コースおよび専攻科生産システム工学専攻の関連講義および学生実験，卒業研究，および専攻科特別研究等の実験・実習・研究指導、など ［勤務地住所］ 北海道函館市戸倉町１４番１号 ［募集人員］ 教授または准教授　１名 ［着任時期］ ２０２０年4月1日
研究分野	大分類　情報学 小分類　すべて(情報学基礎・計算基礎・人間情報学・情報学フロンティア)
職種	教授または准教授
勤務形態	常勤（任期なし)、定年制６３歳＋再雇用２年（６５歳まで）
応募資格	高等専門学校における教育・研究を担当する能力を有し，かつ次の各号に該当する方 （１）博士の学位を有すること（採用予定日までに取得見込みの方を含む） （２）専攻科特例適用認定の資格を得るのに十分な過去 5 年間における当該分野の研究業績を有すること （３）高専における教育，研究，学生指導（学級担任，寮生指導，課外活動等)，学生支援に理解と熱意があり，英語論文作成や英語プレゼンテーションの指導ができること （４）相応な研究業績を有し、地域連携、産学連携の共同研究、等に意欲のあること
募集期間	２０１９年１２月２０日（金）（必着）
応募・連絡先・選考・結果通知	［応募書類］ （１）履歴書（本校様式１，写真貼付） （２）教育・研究業績目録（本校様式２） （３）研究業績概要（A4，1,200 字程度で研究業績全般について記述，様式自由）

	（４）主要な原著論文３篇の別刷（コピー可）　各３部 （５）教育，学生指導および管理運営等に関する実績（本校様式３） （６）着任後の教育，研究，学生指導等に関する抱負（A4，2,000 字程度，書式自由） （７）推薦状１通、および照会者２名（所属，職，氏名，住所，電話・FAX 番号，E-mail アドレス等） ※　（１），（２）および（５）の書式は，下記公募のホームページからダウンロードできます。 ［応募書類送付先］ 〒042-8501　函館市戸倉町１４番１号 函館工業高等専門学校長　但　野　　茂 ※　封筒の表に「生産システム工学科教員応募書類在中」と朱書のうえ，簡易書留で郵送願います。原則として応募書類は返却しませんが、特に返却を希望される者は、返信用封筒（切手貼付）を同封してください。 なお，応募書類に記された個人情報は，本校の教員選考のためにのみ使用し，その他の目的には使用しません。 ［問い合わせ先］ 函館工業高等専門学校生産システム工学科情報コース長　教授　三島裕樹 TEL; 0138(59)6421 , e-mail：mishima@hakodate-ct.ac.jp ［書類提出等に関する連絡先］ 函館工業高等専門学校総務課人事係 TEL; 0138(59)6313 , e-mail：jinjicho@hakodate-ct.ac.jp ※　なお，本校の概要，業務内容および公募についての詳細は下記ホームページをご覧ください。 公募ホームページ：https://www.hakodate-ct.ac.jp/guidance/kyoinkoubo ［選考内容］ 第一次選考　書類審査 第二次選考　面接審査（模擬授業を含む） （第一次選考合格者に対して実施日時をお知らせします。なお，面接のための交通費，宿泊費等は応募者負担となります。）
備考	（１）本校は，男女共同参画を推進しており，業績（教育業績，研究業績，社会的貢献，人物を含む。）の評価において同等と認められる場合には，女性を優先的に採用します。

函館高専の教員が携わる校務内容の概略

現在，わが国の高等教育機関においては大きな変革の波が押し寄せており，本校もその只中にいて，全国高専に先駆けての高度化再編の実施など，新たな生まれ変わりを果たすべく全校あげて取り組んでいます．25 年度に発足した新学科では，これまで以上に国際的に活躍できる技術者の育成に力を注いでおり，教員の英語でのコミュニケーション力も重視しております．

高専は，その教育目標や学生の年齢層（本科：16～20 歳，専攻科：21～22 歳）の幅広さなどから，大学や高等学校とは本質的に異なる点があります．高専の教員は，教育，研究，学生の生活指導などの全てに対して情熱を持って積極的に努力する姿勢が求められます．ここでは，函館高専教員（専門学科）の校務について，認識をさらに深めていただくために，その主なものを記します．

（1） 授業

教員の担当授業時数は，本科における講義が週約 6～8 時間，実験実習や卒業研究などが週約 12～14 時間です．さらに，専攻科の講義や実験実習などがこれに加わります．定期試験は年 4 回あり，前期末と学年末には成績不振学生に対する特別指導など，全員合格を目指して指導します．実験実習科目では，実験指導とレポート添削指導が重要です．また，教員相互に行う授業観察や年度末などに行う学生による授業評価などを通して，教育方法の改善に継続的に取り組むことが求められています．

（2） 卒業研究・特別研究指導

卒業研究は，本科における教育の集大成として非常に重要な役割を持ち，また，教員と学生の密接なつながりの中で成り立つ科目ですので，よりいっそう教員の指導力が要求されます．教員一人あたり 2～5 名の学生を指導します．また，教員一人あたり 1～3 名の専攻科学生を担当し特別研究指導を行います．さらに，研究成果をベースに学位授与機構への申請手続きなども，担当教員が指導します．

（3） 研究

高専の教員は，教育面や学校運営への参画のみならず，研究面での業績も求められます．研究に対する意欲的な姿勢と成果が学校全体の教育研究面の活性化を促し，さらには地域社会への貢献につながることが期待されています．

（4） 学級担任

本学科の教員には，主に第 3～第 5 学年の学級担任をしていただく可能性があります．学級担任は，一学級 40 人程度の学生への勉学や生活指導など，学生生活全般にわたるきめ細かな指導が強く求められます．例えば，高等学校と同様に，毎日，教室清掃の指導がありますし，体育祭や高専祭など各種行事での指導，学生への個人面接や保護者との懇談なども重要な職務となっています．また，4 年生については学外実習の指導，見学旅行の引率指導，5 年生については就職・進学の進路指導を行います．

（5） 各種委員会・会議

本校には，教務委員会，学生委員会，寮務委員会をはじめ，各種の委員会があります．学級担任との兼務あるいは複数の委員会に所属することもあります．委員会に所属した場合には，多岐にわたる仕事をこなすことが求められます．例えば，寮務委員会は月一度程度の宿直に加えて，学寮内の巡回，寮生の日常生活の指導，寮での各種行事・寮生会所属の各委員会活動の指導などを行います．

その他，定期的に学科会議や教員会議等が行われます．情報交換や学校運営に対する意見の集約等を行う重要なものとなっています．

（６） クラブ顧問

クラブ顧問としての日常的な指導をはじめ，運動系の場合には，高専体育大会（地区大会・全国大会）の運営や高体連などの各種大会および練習試合の引率，合宿時の指導などがあります．

（７） 学寮の宿日直

本校では，原則として全教員に学寮の宿直と日直（日直は土・日・祝日のみ）が割り当てられます．寮務委員以外は年数回の割り当てですが，女子寮も設置されており女性教員による宿直もあります．約 200 名の男女寮生を指導するこの職務は，本校教員の重要な教育業務の一つです．

（８） 社会貢献

本校では，共同研究，受託研究，公開講座，出前講座など様々な形で地域連携活動を展開しています．地域社会からも様々な形で本校に対する要望が寄せられます．地域連携活動が学生教育へ及ぼす効果に加え，地域に根ざした高専としての存在価値を高めるためにも，高専教員には積極的に地域社会に対して貢献する姿勢が要求されます．